

ボウサイ通信

令和3年 1月号

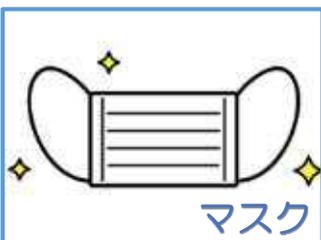
発行：豊橋市防災危機管理課
電話：51-3126コロナ禍
による

避難所開設訓練

感染症を考慮した避難所開設ガイドライン



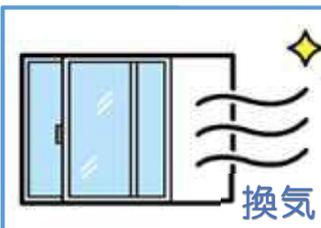
検温



マスク



消毒



換気

2020年の防災訓練は、新型コロナウイルス感染予防のため、中止にされた自治会さんが非常に多くありました。しかし、今こそ実施すべきと「**感染症を考慮した校区防災訓練**」を開催された校区もあり、新しい生活スタイルのもと、新しい避難所運営について検討が進んでいます。

検温、マスク着用、消毒、換気は基本項目となり、それ以外で何が必要で、何を考えなければいけないのか、皆さんで意見を出し合うとはいつつも【密】にならない工夫をしながら、参加者の

人数を抑えて実施する形が主流となりました。自分たちの**地域**に何が**足りない**のか。何に注意すればよいのか。未知なものへの対策をする難しさを皆さん感じた事と思います。防災危機管理課では「**感染症を考慮した避難所開設ガイドライン**」を作成し、自治会の皆様へ配布いたしました。**避難所運営ゲーム（HUG）**の感染症対策バージョンも行われています。地元の学校が避難所となった場合に施設をどう使うか？人の導線を考え、感染者を増やさないための最適案を検討します。

受付では**検温ブース**が何か所も必要となり、最大限の注意を払います。また、受付は**パーティション**等で区切る形となります。

避難者が生活するスペースも、**ダンボール間仕切り**や、**テント型の間仕切り**、床面で生活するリスクを考慮し、**寝台**や**ダンボールベット**などで高い位置をキープする。隣との距離を保つため、避難所の**収容定員はより少なく**する必要があります。よって別途**教室の開放**も余儀なくされます。どの教室から解放するべきか。学校の施設管理者である、**先生との話し合い**も必要となります。今まで以上に考える事が多い印象です。これからも避難所開設訓練の際に、感染症対策を取り入れるとともに、より多くの地域の方への周知をしていく必要があると思います。

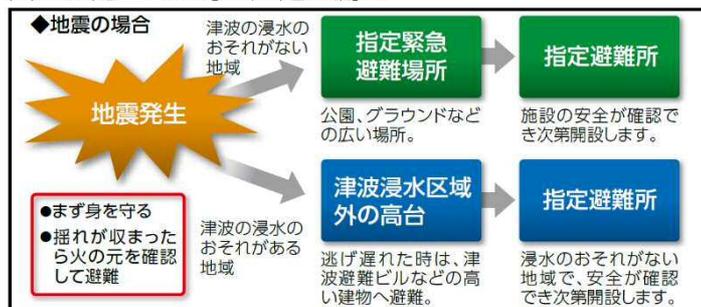
受付に必須となりつつある
ダンボールパーティション

知って欲しい

避難所と避難場所の違い！ ご存じですか

一般的に【避難所】とは災害により家が居住できなくなり、しばらくの期間、避難生活するスペースの事を言います。それに対し、一時的に災害による危険から、身を守るために避難する場所のことを【避難場所】と言います。お近くの公園や、グラウンドなど広い安全な場所で、安全が確認できるまで待機する場所という意味です。

災害が発生した時の避難の流れ



洪水の時のために【洪水避難ビル】も知っておいてください。市内に20か所

万が一、大地震によって市内が大火災になったとき、火災から命を守る避難場所として、市内の大きな公園が指定されています。

①豊橋公園、②東田公園、③向山緑地、④高師緑地、⑤牛川遊歩公園、⑥岩田運動公園、⑦幸公園の7施設が【広域避難場所】と言います。

また、市内には【津波避難ビル】として津波から身を守るために、一時的に避難する施設があります。市が建設した【津波防災センター】（3施設）や公営の施設、民間施設も含め56か所指定されています。他に【津波避難場所】が市内の3か所にあります。



野依小学校



野依のみんなが「自分の命を自分で」守れるように

南海トラフ地震の規模やそれにもなう被害を調べた子どもたちは、自宅や校内、通学路など、身近な生活環境を減災の視点で見つめ直しました。それまで知らなかった行政の減災対策を調べたり、自治会長さんから地域の取り組みや課題を聞いたりしたことで、地域のさまざまな立場の全員が地震で命を失わないための方法を真剣に考え始めました。「守ってもらう」「市が何とかしてくれる」と考えていた子どもも、次第に「市がすべきことは地震の怖さや備えの啓発」「37万人の市民は自分の命を自分で守れるように最大限の努力をすべき」と意識を変えていきました。安全な街づくりという地域の願いをよりよく実現するために、みんなが当事者意識をもち主体的に取り組むことの大切さに気づいた結果でした。住民の意識を高めようと下級生に避難訓練の大切さを伝え、さらに自ら考えた防災レシピを広めたり、大人も巻き込んで地域の防災訓練に参加するよう呼びかけたりするなど、子どもたちの取り組みは続いています。

●6年生学年主任の高田先生から一言

「子どもたちに教わったローリングストックや防災レシピ、さっそく活用してみます」「がんばる子どもたちの様子に感動し、大人もやらなきゃと改めて思いました」学習発表会に参加された保護者や地域の皆様は、子どもたちの当事者意識やその取り組みに刺激を受け、意識を高めてくださった様子でした。地域の宝である子どもたちには、地域を変える大きな力があることを改めて実感したひと時でした。この活動が継続し、さらに大きく発展していくことを期待して止みません。



新しい活動を紹介し
情報募集

新しい取組や、
おもしろい取組

防災会ニュースで紹介させていただきます。

豊橋市役所 防災危機管理課 TEL 51-3126

豊橋市防災キャラクター

「ボウサイマンズ」

応援よろしくお願ひします！

